

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成29年7月13日(2017.7.13)

【公表番号】特表2016-530109(P2016-530109A)

【公表日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2016-057

【出願番号】特願2016-518426(P2016-518426)

【国際特許分類】

B 2 4 B 19/03 (2006.01)

B 2 4 B 21/16 (2006.01)

B 2 4 D 3/00 (2006.01)

C 0 3 C 19/00 (2006.01)

【F I】

B 2 4 B 19/03

B 2 4 B 21/16

B 2 4 D 3/00 3 2 0 B

B 2 4 D 3/00 3 2 0 A

C 0 3 C 19/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月31日(2017.5.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基材の表面にくぼみを形成する方法であって、該方法は、

支持部材の周面に沿って配された構造化研磨部材を含む研磨物品を準備するステップであって、該構造化研磨部材は、裏材に固着した成形研磨複合体を含む構造化研磨層を含み、該裏材は、該支持部材に近接し、該成形研磨複合体は、結合剤材料中に保持された研磨粒子を含む、ステップと、

該構造化研磨層を該基材の該表面と摩擦接触させるステップと、

該構造化研磨層を該基材の該表面に対して縦方向に前進させるステップと、

該構造化研磨層が該基材の該表面との接触を維持し、該基材の該表面を研磨するよう、該基材の該表面に垂直な回転軸の周りで該基材を回転させることにより、該基材に該くぼみを形成するステップと、を含む、方法。

【請求項2】

円形支持ホイールの周面上に配された構造化研磨部材を含む研磨ホイールであって、該構造化研磨部材は、裏材に固着した成形研磨複合体を含む構造化研磨層を含み、該裏材は、該支持ホイールに近接し、該成形研磨複合体は、結合剤材料中に保持された研磨粒子を含み、該支持ホイールは、外径を有し、該構造化研磨部材は、実質的に均一な幅を有し、該構造化研磨部材の該幅の、該支持ホイールの該外径に対する比は、0.125以下である、研磨ホイール。

【請求項3】

第1及び第2の対向する主表面を有する板であって、ガラス、セラミック、又はこれらの組み合わせを含む、板と、

該第1の主表面に当接し、かつ該第1の主表面から内向きに延在する球状に凹んだくぼ

みであって、最内部を有する、球状に凹んだくぼみと、該第2の主表面と該球状に凹んだくぼみの該最内部との間に延在し、かつ該第2の主表面と該球状に凹んだくぼみの該最内部に当接する円筒形通路であって、該第1の主表面に垂直である、円筒形通路と、を含む、カバー。

【請求項4】

第1及び第2の対向する主表面を有する板であって、ガラス、セラミック、又はこれらの組み合わせを含む、板と、

該第1の主表面に当接し、かつ該第1の主表面から内向きに延在する第1の球状に凹んだくぼみであって、第1の最内部を有する、第1の球状に凹んだくぼみと、

該第2の主表面に当接し、かつ該第2の主表面から内向きに延在する第2の球状に凹んだくぼみであって、第2の最内部を有する、第2の球状に凹んだくぼみと、

該第1の球状に凹んだくぼみの該第1の最内部と該第2の球状に凹んだくぼみの該第2の最内部との間に延在し、かつ該第1の最内部と該第2の最内部にそれぞれ当接する円筒形通路であって、該第1の主表面に垂直である、円筒形通路と、を含む、カバー。